

田村学先生の徹底解説で「学習評価」がよく分かる！

学習評価

田村学

東洋館出版社

具体的な学習活動に応じた
評価規準の設定方法を
徹底解説

知識の構造化による
豊かな見取りと
質の高い授業の実現

今回の学習指導要領の改訂においてこれまで四観点を基本としながらも教科等間において違いがあった評価の観点、全ての教科等で、資質・能力の三つの柱に沿った「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点到に整理されました。このことは、どの教科等においても、統一的な考え方で学習評価を適切に行えるようになることを意味します。

また、これまで難しく曖昧であった、評価規準の設定方法なども明確化される契機となります。具体的な学習活動に即した評価規準の設定方法がどの教科でも共通で明確なものになれば、子供の見取りはより豊かなものとなり、同時に、日々の授業もより質の高いものになることが期待できます。田村学教授（國學院大學）の待望の新刊『学習評価』は、全ての先生にとってわかりやすく、評価に取り組む際の道しるべとなる画期的な一冊。

「いつでも、どこでも、だれでもできる」が、キーワード。

学習評価には「四つの機能」があります。

- ①指導と評価の一体化
- ②説明責任の遂行
- ③自己評価能力の育成
- ④カリキュラムの評価

つまり、教育課程にも、子供自身にも、地域や保護者にとっても機能すべき重要な行為として「学習評価」は存在します。「いつでも・どこでも・だれでもできる」、安定した精度の高い評価規準こそが、子供の見取りを深め、明日からの授業を洗練させる！



東洋館出版社EC



Yahoo!ショッピング



ご注文の際は、左記のサイトが送料無料サービスなどもありお得です。
ご購入方法についてはそれぞれのサイトでご確認ください。他、ネット書店でもご購入できます。

*ネット通販以外でご購入希望の場合、お近くの書店様にお問合せ下さい（お取り寄せ注文が可能です）
*弊社に直接ご購入希望の場合、代金引換でのみ対応させていただきます（送料手数料合計1,080円別途発生）
→下記項目必須記入の上、右記までFAXをお願いいたします FAX 03-3823-9208

書店印

学習評価



田村学 著 ■税込価格 2,200 円 ■ISBN : 978-4-491-04328-9 ■四六判・300ページ

〒

-

※代金引換注文時必須記入欄

住所

お名前

電話

『学習評価』

序章 学習評価の改善過程を概観する

第1章 資質・能力を明確にする知識の構造化

第2章 学習評価の意義と役割

第3章 授業における見取りと評価

第4章 学習指導の計画と評価規準

第5章 評価規準の設定方法の明確化

第6章 知識の構造化による評価規準と子供の学び

第7章 観点別評価の総括

第8章 知識の構造化とカリキュラム・マネジメント

終章 知識はさらに駆動する

好評既刊！

2015 年刊行

第1弾

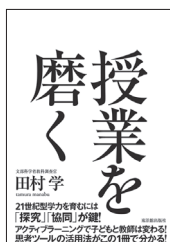
『授業を磨く』

アクティブ・ラーニングで
子供と教師は変わる！

アクティブ・ラーニングを通した授業を目指す中で、教師はどのようなビジョンをもち、授業を磨いていけばよいか「探究・協同」「21世紀型学力」「イメージ力」「課題設定」「思考ツール」をテーマに具体的に紹介。

四六判・160ページ 税込 2,145 円

ISBN : 978-4-491-03114-9



2018 年刊行

第2弾

『深い学び』

活用・発揮を繰り返し、
子供の知識が駆動する！

「主体的・対話的で深い学び」とりわけ最も重要であるにもかかわらず、最もイメージしにくいと言われてきた「深い学び」を取り上げ、その具体を明らかにしていくことを試みる。

四六判・260ページ 税込 2,178 円

ISBN : 978-4-491-03502-4



■著者紹介



田村 学 (たむら・まなぶ)

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授（文部科学省視学委員）

昭和 37 年新潟県生まれ。新潟大学教育学部卒業後、昭和 61 年 4 月より新潟県公立小学校教諭、新潟県上越市立大手町小学校教諭、上越教育大学附属小学校教諭、新潟県柏崎市教育委員会指導主事を経て、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官。文部科学省初等中等教育局教育視学官として学習指導要領作成に携わる。平成 29 年 4 月より現職。主著に、『「探究」を探究する』（学事出版）、『「深い学び」を実現するカリキュラム・マネジメント』（文溪堂）、『問い、対話、振り返りによる中学校の授業改革』（小学館）、『授業を磨く』『カリキュラム・マネジメント入門』『深い学び』（いずれも東洋館出版社）など多数。